

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1094 医薬衛生材料費	会計	03	国民健康保険事業特別会計
		款	02	医薬費
		項	01	医薬費
基本 施策	01 10万市民の健康を維持する	目	03	医薬品衛生材料費
		細目	507	医薬品衛生材料費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	医薬品衛生材料費
担当部課	コード 703100 名称 山田診療所	担当者 氏名	永井 喜美子	連絡先 47 - 0305 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	利用者(患者)	※対象件数
成果(どうする)	・診察後、その場で薬がもらえる(利用者の利便性を図る)	
根拠法令・要綱等	伊賀市国民健康保険診療所条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品衛生材料の購入(単価契約)</li> <li>・在庫管理</li> </ul>	
社会情勢 の変化等	低コストのジェネリック医薬品が注目されているので、積極的に取り入れて費用の軽減に努める。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
医薬品・衛生材料の在庫数削減		品目	目標	400	目標	400
			実績	393	実績	376
			目標		目標	
			実績		実績	

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	目標		
				実績	実績		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	26,511	23,708	25,200	25,200				
A の 財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0					
一般財源	26,511	23,708	25,200	25,200				
事業投入人件費(B)	0.6人 4,320	0.6人 4,320	0.6人 4,320	0.6人 4,320				
フルコスト(A)+(B)	30,831	28,028	29,520	29,520				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業 個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <b>80%以上100%未満</b> 実施している。 予算の繰越の有無 <b>無</b> 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	【計画に遅れが生じている場合、改善策】 使用実績をみて在庫管理を適正に行う。
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	医療薬剤の単価契約は、現在各施設で行っているが、今後は本庁一括で単価契約する方向で手続き事務を効率的にする。
昨年度の 取組状況	【状況】 <b>計画のとおり進んでいない</b> 【詳細】 各診療所の方針の違いもあり、個々に契約をしている。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中村 崇
事業の方向性	【方向性】 <b>現状維持</b> 【理由】 ジェネリック医薬品などを使って、コストの削減を行っていく。
現時点における 課題、その他	薬の単価を下げるために入札を上野総合市民病院と一括して行えないかとの指摘があったので、市民病院と協議したところ、同じ薬でも包装単位や購入数量が違うので、まとめて契約をすることは難しいとの結論だった。そして、契約にない薬が即必要になったりする事情もあり個別契約になっている。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	現時点ではなし。